

学力向上に効果のある取組事例

臼杵市立南中学校

①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

臼杵市立南中学校は全校生徒46名の小規模校である。
数年前より「かかわる」「わかる」「つたえる」をキーワードとした教育活動に取り組んでいる。

○南中学校教育目標
「かかわる」「わかる」「つたえる」ことができる南中生の育成

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標
読解力の向上および 知識・技能の確実な定着	単元末における知識・技能の3段階評価でC評価の生徒を0にする。【知】	個に対する指導の適正化による基礎学力の定着 学習した知識・技能を振り返る学習活動	各教科担任は、 基本的内容 (用語公式・漢字単語・図グラフ等の読み書き・意味の理解)の定着を図り、特に単元末で個に応じた学力保障をする。 各教科担任は、 学習した知識・技能 を振り返る学習活動を、単元末ごとに設ける。
適切に表現できる力の育成	① 学期末教職員アンケート「生徒は、適切な表現や所作を身に着けている」の項目で回答平均3.0以上。【徳】 ② 単元末における記述式問題でのA評価70%【知】	① エンカウンターを利用した活動後、思いの伝え方(言葉づかいや行動)について振り返らせる。 ② 問題解決的な授業展開 (課題を定義し解決策を考えたり、日常生活への応用のしかたを考える学習活動など)	学年部(合同でもよい)は、エンカウンターを利用した活動を月1回以上取り組む。 各教科担任は、 問題解決的な授業展開 を、単元や小単元ごとに設け、 思考の過程と言語による表現 を評価する。
協力し合い、自己肯定感を高め合う集団の育成	生徒アンケートにおける「委員会活動満足度」「行事満足度」の項目で、満足度平均3.0(4段階)以上。【徳】	特別活動におけるグループ活動で、目標達成に向けた協働を仕組み、達成感を味わわせる。	教員は、委員会活動と学校行事において、 高い目標を与え、協力し合うことを促す 。定期的な話し合いの中で進捗状況など適切に評価・アドバイスを与える。

4点セットには学力向上(知)に関わる重点的取組が3項目ある。

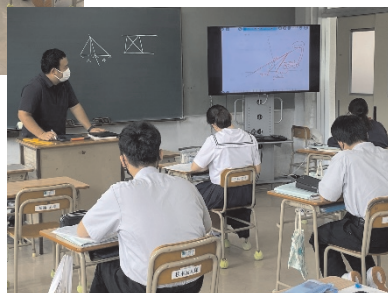
まず、「**基本的内容の定着**」であるが、どの教科においてもドリルや小テストを行いながら、定着度の低い生徒に対する個別指導を大切にしている。

次に、「**学習した知識・技能を振り返る学習活動**」であるが、本校では中間考査をやめ、単元テストを実施している。その前後に単元全体を振り返る活動や単元テストの結果を踏まえた個別指導を行うようにしている。

最後に「**問題解決的な授業展開**」であるが、単元プランを作成する中で位置づけるようにしている。



3年数学の様子
単元テスト後のやり直しをしています。



国語科では生徒に単元プランを示し、見通しと意欲を持たせています。毎時間の評価にも使用しています。

次	時	活動内容	レディネス	評価
1	1	・作品を通読する。 ・作品の印象を書く。 ・漢字の確認をする。		・長い文章だが、集中して最後まで読むことができた。 (4・3・2・1)
2	1	場面① ・登場人物を整理する。 ・登場人物の言動に着目して、それぞれの人物像を捉える。	音読してくるごと。	・4人の登場人物の人柄を、描写を根拠にして考えることができた。 (4・3・2・1)